

# 「富岳」政策対応枠の実施課題の概要

資料3

府省庁名	実施課題名	政策的背景（申請書より抜粋）
内閣官房 新型コロナウイルス 感染症対策推進室	経済活動と感染防止対策の両立の実現のための「飛沫シミュレーション」の実施	○本事業は、これまでも <u>政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会等に対するインプット</u> を行っており、イベント制限の見直しなどに活用されてきたところ、引き続き、その時々状況に応じた取組を進めていく必要
環境省	短寿命気候強制因子による気候変動の緩和策に資する定量的評価	○ <u>パリ協定の目標達成にはCO2削減のみでは困難であり、短寿命気候強制因子（SLCFs）の早急な削減策検討が必要</u> ○SLCFsによる気候変動や環境影響の定量評価、SLCFs排出量の最適削減パスの <u>気候変動政策への活用</u> が期待される
内閣府(防災担当)	相模トラフ沿いの巨大地震に伴う長周期地震動による被害予測の高度化	○ <u>相模トラフ沿いの巨大地震</u> は、数百年単位の周期性を持って発生しており、その <u>防災・減災対策が進められているところ</u> ○長周期地震動対策については、高層建築物等への被害等が懸念されることから、その <u>影響の評価と対策の検討</u> が喫緊の課題
気象庁	豪雨防災、台風防災に資する数値予報モデル開発	○ <u>線状降水帯や台風による被害</u> は近年、毎年のように発生しており、その <u>予測精度の向上は喫緊の課題</u> 。2030年頃に気象庁で運用が見込まれる <u>スパコンシステムを想定した開発</u> が必要。
スポーツ庁	国立競技場における観客の「飛沫シミュレーション」の実施	○新型コロナウイルス感染症拡大が収まらない中の <u>スポーツイベントの実施に関する今後の検討</u> に資するため、 <u>「国立競技場」客席スタンドにおける各種対策の有効性に関する科学的検証データ</u> が必要